



# 浅間の旋風

元気!やる気!!よしあき!!!

発行責任者: 山岸喜昭  
〒384-0022 長野県小諸市南町3丁目9番地19 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320  
http://asama-kaze.com E-mail voice@asama-kaze.com



2月定例会 一般質問

議会報告

抜粋

浅間山防災体制の強化と「恵み」の活用について

【山岸】群馬県と長野県をまたぐ浅間山の大規模噴火のハザードマップを踏まえた、市町村の避難計画等の策定支援、マップの周知をどのように進めるか?  
【危機管理部長】市町村の防災マップや避難計画作成に当たって火山専門家などの助言を頂きながら支援を行う。また、ハザードマップを広報や説明会により周知を図る。県でもホームページを活用するなど周知に努める。



3月23日、浅間山火山防災協議会は、大規模噴火想定ハザードマップを公表。火砕流や火砕サージ(高温の暴風)が、小諸・佐久市、軽井沢・御代田町に及ぶとされている。火山灰も東御・上田市でも50cm以上積もる恐れがあるとしている。万の場合を想定しながら日頃の安全対策を着実に、住民と観光客との情報と備えを共有することが大切。  
※同時に小中規模噴火想定マップも改訂公表している。

林業種苗生産拡大と安定供給について

【山岸】今年度カラマツの苗木が不足していると聞いている。需要と供給の調整は?  
【林務部長】適切な森林更正の為に苗木の供給は不可欠で、向こう3年の生産目標を定め適切化に取り組んで来たが、精度よく見通すことは難しい。これまで以上の連携強化の為に、今年度に生産者、造林者、山林種苗協同組合及び関係機関による会議を開催し、諸々の検討に入りたい。

【山岸】造林用優良苗木の計画的生産と、需給の安定化の為に課題と対策、基盤整備は?  
【林務部長】増加が見込まれる主伐・再造林に対し、計画的な苗木生産の為に、確実な苗木の需給調整を図り、コンテナ苗木の増産が必要。増産の為に、育苗期間の短縮や大量生産が可能なコンテナ苗木導入を進め、施設整備への助成や技術向上の支援が不可欠。確実な再造林へ環境づくりに取り組む。

蓼科山山麓より御牧原幹線水路 農業水利施設の老朽化対策について

【山岸】農業用水利施設は、復旧のために長時間を要し、被害の甚大さが想定される。老朽化への対策は?  
【農政部長】県内は昭和30〜40年代の農業水利施設が多く、補修や更新費用の増大が課題。基幹水利施設は土地改良区などと長寿命化計画を策定し、適時適切な整備によりライフサイクルコストの低減を図っている。頭首工や水路トンネルなど重要構造物については優先的に計画を策定する。



※詳細は、県議会ホームページでご覧いただけます。

本年度は、総務企画警察委員長に就任。

県行政の総合的な企画調整、地域振興、県財政の状況、犯罪・交通事故、少年非行の防止などについて調査や議案等の審査をします。



長野家庭裁判所佐久支部

調査官の常駐、少年審判の取り扱いなど、庁舎充実を求める要望が出されました。

佐久支部管内の人口と家事新受事件数は、県内6支部の中3番目でありながら、唯一佐久支部には、調査官が常駐しておらず、地域間の不平等な状態。また、佐久支部は唯一、少年事件も取り扱っていない。また、県内支部の中で唯一エレベーターもなく、車いす利用の方や高齢者に不便である他、防寒設備が不十分、試行面会室がないなど、設備面での課題も多い。これらの改善、充実を求める要望が長野県弁護士会と「裁判所佐久支部の充実を求める協議会」より出されました。

小諸市内 県道・国道整備状況

国道141号線 小諸ICから諸信号を経て小諸商業まで拡幅。市町地区、栃木橋架け替え工事が進む。

峰の茶屋小諸線 小諸高校通学路県道上の歩道設置。

県道 馬瀬口小諸線 中村JA北大井支所前危険交差点の歩道設置。

諏訪白樺湖小諸線 一ツ谷御影交番交差点から三岡駅入口の県道の歩道設置。

人口減少と少子化問題について

人口減少が進行している地方では危機感が強いが、停滞期が続く首都圏では危機感が弱い  
若者が集中する首都圏では2020年ころまで人口増加が続き、その後暫くは停滞期が続く。全国人口も1億2000万人以上のピーク時の停滞期が暫く続く。従って首都圏の政財界や学者・メディアの人口減少に対する受け止め方は危機感が弱い。他方地方ではかなり前から減少が始まり、多くで5、10%の減少が進んでいる。自治体の大半はすでに国の減少速度を上回る人口減少が進んでおり危機感は強い。出生率回復や出生数減くい止めは地方自治体まかせでは実現しない。

小諸市も人口減少が続く。

一昨年は754人、昨年は303人の減少で、現在の人口は約4万1800人。自然減、社会減が続く、このまま何もしないと、22年後(2040年)には3万2000人になる試算もある。

市はPR活動の他、空き家バンク、働く場所創造のための新しい産業団地の造成、18歳までの子どもの窓口医療費無料化など定住増加策を実行しているが、人口減少は単一の市町村では難しいものであり、県・国をあげての対策が急がれる。



信濃美術館 整備事業の全体像まとまる。

この事業は、信濃美術館(本館)の建て替えと長野市の城山公園噴水広場の再整備を行うものです。長野県の文化振興の拠点として、ランドスケープ・ミュージアムのコンセプトのもと、公園と東山魁夷美術館も含めた施設の一体的な空間をデザインしていきます。

設計者のと 設計者 宮崎 啓



## 2月定例会 県議

# 8、463億円余の新年度予算案 住宅宿泊事業の適正実施条例案 新たな「総合5か年計画」などを可決



2月16日に開会した2月定例会は、3月16日までの本会議で、総額8、463億円余の30年度一般会計予算案、住宅宿泊事業の適正な実施に関する条例案、総合5か年計画の策定など追加の補正予算議案を含め知事提出の78議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

代表質問は、石和幹事長が新年度当初予算案や次期総合5か年計画などを中心に質しました。一般質問は、我が会派から12名が登壇し、県側の姿勢や考え方について議論を重ねました。

会期末に行われた役員改選では、小林東一郎政務調査会長が副議長に選任され、常任委員会構成は別表のとおり決定しました。

なお、任期3年の教育長には、原山隆一氏が再選されました。

### 当初予算のポイント

主体的な「学び」と、その学びが共有され、県民が協働して地域課題を解決していくこととする「自治の力」を政策推進のエンジンに、重点的に取り組む14の政策パッケージとして編成されました。

### 主な政策パッケージ

- 生きる力と創造性を育む教育の推進 7億2千万円余
- 高等教育の振興による知の拠点づくり 24億5千万円余
- 革新力に富んだ産業の創出・育成 5億1千万円余
- 収益性と創造性の高い農林業の推進 3億5千万円余
- 郷学郷就の産業人材育成・確保 35億7千万円余
- 観光地域づくり 3億4千万円余
- 文化芸術の振興 48億3千万円余
- 国体等に向けたスポーツ振興 13億9千万円余
- 健康づくり、医療・介護体制の充実 73億円余
- 地球環境への貢献 11億7千万円余
- 共生社会づくり 4億円余
- 女性が輝く社会づくり 2億1千万円余
- 子ども・若者が夢を叶える社会づくり 38億5千万円余

## 石和幹事長が代表質問



【石和議員】新年度当初予算案を「学びと自治の力で拓く新時代に向けて」として取りまとめたが、この言葉に込めた知事の思いは何か。

【阿部知事】「しあわせ信州創造プラン2・0」の第一歩として「学びと自治」を政策の基本に据え進めていく。

【石和議員】当初予算案では、「しあわせ信州創造プラン2・0」の内容を

どの程度具体化することができたか。

【阿部知事】かなり新しい方向性を予算の中に明確にすることができた。例えば、ICT教育の充実とかAI・IoTの活用

というような新機軸も打ち出し、新しいプランと予算を一定程度連動させることができた。

【石和議員】社会保障関係費が年々増加する中、どのように財源を確保し財政運営を行っていくのか。

【阿部知事】地方税財源の充実、県としての税収の確保、事務事業の見直しによる財源確保の観点がある。

地方税財源の充実では、地方交付税の財源保障の仕組みも含めて、しっか

り国に財源を確保してもらうことが大前提だ。

【石和議員】知事は、最初の選挙公約時から臨時財政対策債の廃止を含めた抜本的な見直しを国に求めていくとしてきたが、具体的にどうやっていくのか。

【阿部知事】臨時財政対策債は県債残高の約4割を占めており、交付税で受けるべきものが借金に置き換わってしまっている。これからも、他の都道府県、市町村とも連携し

引き続きこの見直しを国に強く求めていく。

【石和議員】「しあわせ信州創造プラン2・0」で6つのチャレンジプロジェクトを掲げているが、その概念とこれをどのように進めていくのか伺う。

【阿部知事】今回のプロジェクトは、まず、政策立案に力点を置き大きな枠組みで構想をつくっていく。実行しながら考え、考

### 核兵器禁止条約関連の意見書を可決

ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会（代表世話人藤森俊希氏）から要請のあった、国連の「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する請願を受け、唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界を実現するため、我が会派と日本共産党県議団が共同提案をした「核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書(案)」は、3月2日採決に付され、「議

長が必要と認める」として投票採決を行い、賛成30票、反対24票で可決しました。

国会、政府の英断によって、核兵器禁止条約の署名と批准が速やかに行われることを強く期待するところです。



### 小林政務調査会長が第96代副議長に就任

2月定例会県議会で、我が会派の小林東一郎氏は日本共産党県議団団長小林伸陽氏との一騎打ちの副議長選挙に、他会派の圧倒的な支持を得て、第96代副議長に就任しました。

立候補者の所信表明会で小林政務調査会長は、「しっかりと議長を支え、公平公正な議会運営を図る。若い世代の政治参加を目指す意見交換の場を模索していきたい」と、県民により信頼される県議会を目指す決意を表明しました。

なお、議長には自由民主党県議団の鈴木清議員が選出されました。

常任委員会等構成 (○委員長 ○副委員長)			
総務企画警察	下沢順一郎	◎山岸喜昭	石和 大
県民文化健康福祉	竹内久幸	○埋橋茂人	
環境産業観光	◎荒井武志	堀場秀孝	
農政林務	小島康晴	◎依田明善	
危機管理建設	高橋 宏	○今井愛郎	
文教企業	寺沢功希	花岡賢一	
議会運営	竹内久幸	石和 大	○花岡賢一
決算特別(内定)	小島康晴	石和 大	埋橋茂人

### 6月定例会日程(予定)

- ▽6月21日 開会
- ▽26、29日 一般質問
- ▽7月2、5日 委員会審議
- ▽6日 閉会